

ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術（ロボット腎手術）のご紹介

当院泌尿器科では転移のない腎臓がんで大きさが7cm以下に対して、ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術（ダビンチXiを使用）を施行しております。

当院では最新型のダビンチXiを東北地方で初めて導入しています。

ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術（ロボット腎手術）の内容

腎臓がんに対する保険適応の治療法です。腎臓の正常部分を維持しながら腫瘍を切除するもので、腫瘍が小さい場合が対象となります。開腹手術に比べて傷が小さく痛みが軽度で、手術後の回復が早い、手術中の出血量が少ないなどの利点があります。そのため、術後の回復が早く手術翌日に歩行可能であり食事也开始できます。また、出血量が少ないためこの手術法では他人の血液を必要とする輸血の確率は5%未満とされています。繊細な手術が可能のため、腹腔内での精密な切開や正確な縫合を素早く行うことが可能であり、阻血時間の短縮や術後の腎機能温存につながります。

入院期間は7～10日間程度と短いことも特徴です。

腎臓がんの可能性があると指摘された場合や御心配な場合はまず腹部エコー検査やCT検査が必要になります。

腎臓がんの診断、治療でお困りの方や、低侵襲手術（ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術）を御希望の方は、ぜひ当科外来に御相談ください。

手術方法

麻酔：全身麻酔

1. 腹部に5～6か所ポートを作成します。（傷は1～2cm大と小さいです）
2. 気腹（腹腔内をガスで膨らませます）の上、ロボットで操作できる内視鏡鉗子を使用し腎を剥離します。
3. 腎動脈遮断の上、腎腫瘍の切開ラインを確認しながら切除します。
4. 腎部分切除後の出血を止血の上、手術終了です。

手術時間

手術はおよそ3～4時間かかります。（腎腫瘍の状態により異なります）

詳しくは、泌尿器科外来で担当医にお尋ねください。

